

第2回協議会 指摘対応事項と計画への対応方針

資料2

No.	カテゴリ	指摘事項	対応方針
1	ニーズ調査について	○交通弱者に関する課題の抽出について 交通弱者の課題把握のため、民生委員、包括支援センター等に意見を聞いて頂きたい。 障がい者・高齢者・子育て世帯・外国人などの交通弱者のように公共交通のニーズが高いと考えられる方の意見は丁寧に拾って頂きたい。	・交通弱者をはじめとして、アンケート調査のみでは把握が困難と考えられる部分等は、別途関係団体へのヒアリング調査を実施する
2		市外からの通勤、通学する方や、現在公共交通を利用していない方への対応について検討頂きたい。	・PT調査での傾向的な把握に加えて、通学については学生アンケートや学校へのヒアリングを通して把握することとし、現在公共交通を利用していない方については、区長アンケートや高齢者関係団体等への調査を実施する
3		学生アンケートについて、名護市内から他の地域の学校に通う方についても、多くはないと思うが検討して頂きたい。	・学生アンケートに加え、沖縄県の通学実態調査や学校へのヒアリング等を実施する
4		顕在化した移動（移動目的（買物、通院）、移動手段、移動頻度、属性など） 特に移動頻度で、検討すべき公共交通の形態（路線バス、デマンド交通、タクシーチケット配布など）は異なる。また、通院、高齢者の介護等の移動目的により、移動が必要となる曜日も異なる。	・顕在化した移動（移動の現状）については、市民アンケートにて把握する
5		○潜在的なニーズの把握方法について ・東海岸側から市街地方面へ移動したいが制約がある人を整理してはいかかが ・現状公共交通を利用していない人に対して意見を聞いてはいかかが	・市民アンケート調査での把握に加えて、具体的な潜在的な移動ニーズの把握は、別途ヒアリング調査等での対応を検討する
6		・新たな移動需要（観光周遊）の創出に関して分析してはいかかが	・観光協会の実施するアンケート調査の活用等を検討する
7		公共交通計画の作成について ・移動の現状に基づいて、公共交通の形態（施策）を検討する必要があるのではないかと	・市民アンケート調査及びヒアリング調査を通して、地域や利用者属性別の具体的なニーズを把握し、関係課等との調整を含めて検討する
8		・潜在的なニーズに基づく移動支援策の検討などを検討する必要があるのではないかと	・ヒアリング調査等で把握した課題について、担当課等との調整も含めて検討する
9		・観光面において、特に名護を来訪する観光客に対してような周遊を促すかについて、検討する必要があるのではないかと	・観光協会の実施するアンケート調査等を踏まえて、施策検討の中で観光周遊等の観点にも留意して検討する
10		・公共交通利用者等の直接的な効果だけでなく、クロスセクター効果等についても、目標の中で検討をしていただきたい	・他自治体の事例も参考にし、指標設定等の際に留意して検討する